

# 入院時情報提供書の手引き

## 1、目的

入院時の情報提供の目的は、利用者の生活歴や住環境等を踏まえて「退院支援対象者のスクリーニング」や「退院支援計画書」作りに役立てていただくことです。医療と介護連携においては、こういった医療機関の動きに連動したケアマネージャー側の適切な情報提供が利用者のケアマネージメントにとって重要となります。また、単に情報を伝えるためだけでなく、「顔の見える連携」を図る最初の一步であり、早期から円滑な在宅復帰に向けて取り組んでいく関係を作るために非常に重要な機会となります。

H30年度介護報酬改定で医療と介護の連携の強化を掲げられていますが、その中でも入院時における医療機関との連携を促進する観点から見直しが行われました。

具体的には、入院時に担当ケアマネージャーの氏名等を入院先医療機関に提供するよう依頼することを義務づけられ、また入院時連携加算について、入院後3日以内の情報提供を新たに評価するとともに、情報提供の方法による差を設けないこととされました。

入院前の利用者の状態を、客観的な視点で、一番把握しているのは「担当ケアマネージャー」です。

より適切な支援を受けられるよう、医療機関の多職種の方に利用者のことを知っていただくために、この手引きを参考にいただき入院時情報提供書を作成していただければと思います。

## 2、記入の際のポイント

### ① 居宅介護支援事業所

担当ケアマネの携帯番号は必須ではありません。個人携帯番号を記入する必要はありません。

### ② 基本情報

緊急連絡先はできれば2か所お願いいたします。①②の数字の後に氏名を記載してください。

家族構成はキーパーソンと主たる介護者が違うことがあります。同じ場合には両方しるしをつけてください。また、介護者の社会的背景や介護力についてわかることがありましたらその他の欄に記載をお願いします。(例えば、老老介護である・日中独居である・介護者も病気を患っている・家族が遠方で協力が得られない等)

保険情報等については、わかる範囲で記載してください。

### ③ 在宅支援体制

サービス利用状況について、在宅でどのようなサービスをどのように利用して生活していたかという情報は退院に向けて大事な情報となります。特に訪問診療、訪問看護等は情報のやり取りを直接することがあるので、事業所名を記載してください。

### ④ 自宅での生活状況について

病院では入院時にアナムネ聴取を行います。これはご本人・ご家族から入院時の状況について確認をしていきます。入院前と入院時では状態が変わっていることが多いため、在宅での状況が把握しづらく患者のADLのゴール設定が難しくなります。入院前のADLの状況はとても重要な情報となります。

## ⑤ 認知・精神面について

環境の変化に伴い、認知症に伴う行動や心理状況も変化する場合があります。入院前の様子がどうであったかということはとても重要な情報となりますので記載をお願いします。

## ⑥ その他について

在宅生活に対するご本人・ご家族の意向や意欲、介護力、思いなど入院前にはどのように考えていたのかを伝えることも重要です。

例：自宅での看取りを希望されている。

がんばれるところまではがんばるが最期は病院への入院を希望する。

自宅での介護はもう限界。

サービス調整にて自宅退院が可能。

ご家族の意向を記入される際は、誰の意向なのかをわかるように記載をしましょう。

\* 家族関係(主介護者とキーパーソンが違う・家族仲が悪い等)や経済的に困っている等  
具体的記入。介護状況等で紙面に載せることのできない情報(介護者が精神疾患を患っている、虐待の疑いがある等)については、直接担当者に伝えてください。(電話等可)

## ⑦ 提出方法について

契約時に個人情報使用同意書に署名していただいていると思いますが、念のため本情報を病院に提出する際には、ご家族に一言提出する旨を伝え同意を得るようにしましょう。

提出方法につきましては別紙(座間市近隣病院入院時情報提供書提出方法一覧表)参照してください。

提出先一覧に掲載されていない病院につきましては、大変申し訳ありませんが各自でお問い合わせいただきますようお願いいたします。

FAXにて情報提供される場合には、氏名・住所・緊急連絡先は一部消してください。FAX送信前に必ず病院に一報入れていただきますので、消した部分は口頭で直接お伝えすると良いと思います。

郵送にて情報提供される場合には、病院側で第一報目を電話で受け、後日郵送で了解していれば、書類が3日後でも加算対象となります。その場合は、必ず支援経過記録等に記載しておきましょう。

入院時情報提供書を提出する段階では、利用者の状態も不安定で、医師の治療方針も決定していない場合も十分に考えられます。そのため、今後の情報提供の希望として、また連携を取り易くするために★印で表記しました。